

PHaT PHOTO'Sのセカンド・シーズンがスタート!!

2007年の初夏から募集を開始した第2期PHaT PHOTO'Sですが、厳正な審査を経てメンバーが大決定! ということで、新しい仲間として「PHaT PHOTO」がサポートする8名の新メンバーをご紹介します。

伊与田成美 Shigemiyota



「ホントにホントに嬉しいです!! ありがとうございます!! 土地の空気や匂い、人の温度や存在の力が伝わる写真を届けられるように、よく見て、よく心を開いて、たくさん歩く1年にします」

1971年高知県生まれ。神戸大学卒業後、ケニア・ナイロビでスワヒリ語を勉強しながら写真始める。帰国後、日本写真芸術専門学校を卒業後、2004年には文化庁からの派遣される形でニューヨークのInternational Center of Photography (ICP) に1年間留学。現在はフリーランスのフォトグラファーとして活動を続けている。
www.shigemiyota.com

岩城文雄 Humio Iwaki



「上京してもうすぐ2年。僕を送り出してくれた仲間たちに、やっと良い報せをひとつ、することができました。PHaT PHOTO'Sを足がかりにして、いま1度、自分と写真を見つめ直し、さらに上のステップへと進んでいきたいと考えています」

1966年兵庫県生まれ。1989年に香川でスタジオオープン設立以後、2003年まで同地で広告写真の撮影といった活動を続ける。2004年には高知に活動の拠点を移し、2006年に上京。2007年7月には東川国際写真フェスティバルのストリート部門で準グランプリを獲得し他、2008年1月には写真展「暖かな時間」を開催予定。

大富絵里歌 Erika Otomi



「合格通知が届いたとき、嬉しいというより、ただただビックリしてドキドキがとまりませんでした。作品提出が大変だとは思いますが、私の作品が世の中に出て行くのはすごく嬉しいので、自分の味が出せる作品をつくってきたいと思います」

1982年福岡県生まれ。高校在学中に写真を始める。その後、大阪のスタジオにてはじめて写真関係の仕事に就き、カメラマンになりたいという決意を固める。現在はカメラマンのアシスタントとして写真を勉強中。

大橋翔 Syou Ohashi



「通知をいただいたとき、まず疑いました。ウソではないとわかったときは大変嬉しかったです。「作品としてモノを売る」という明確な意思のもとつき、撮る行為によって得られるであろう新たなギャップと共に歩み、良い写真をつくりたいと思います」

1982年兵庫県生まれ。高校卒業後に渡米し、映画技術と撮影技術を学ぶなかで写真と出合う。在学中は自身の映像、写真作品制作や、カメラマンとして短編映画の制作などに参加。帰国後は映像制作会社での勤務を経て、フリーランスとしてライブ、舞台演出映像やPVなどのムービー撮影を行いつつ、2006年より写真作品の制作を開始した。



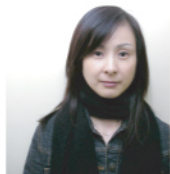
田中舞 Mai Tanaka



「作家としての第1歩を踏みだせたことがとても嬉しいです。仕事として作品を出していくプレッシャーもありますが、自分の作風を持ちながらも、そのなかで変化し、成長していきたいと思っています。いまはもっと人と関わり、たくさん写真を撮りたいです」

1985年埼玉県生まれ。2003年に高校生の生活フォトメッセージコンテストで最優秀賞、そして2006年にはニコサロJuna21に入選を果たした。2007年に東京工芸大学芸術学部写真学科を卒業。現在は、同学部写真学科に研究生として在籍している。
www.maitanaka.com

松本友希 Yuki Matsumoto



「合格通知を受け取ったときはとても信じられず、何度も読み返してしまいました。いままです写真を撮り続けてきましたが、このチャンスを通じて1歩先に進んでいけることがとても嬉しいです。これからの活動と仕事との両立はとても厳しいと思いますが、頑張っていこうと思います」

1970年神奈川県生まれ。旅行会社で職中に写真に興味を持ち始める。2000年に、日本写真芸術専門学校報道芸術科を卒業。現在は派遣社員としての生活を送りつつ、写真を撮り続けている。
www.yukdaruma.info

南しずか Shizuka Minami



「PHaT PHOTO'Sに選ばれましたこと、本当に嬉しく思います。尊敬するテラウチさんに多少なりとも関わらせていただけることは非常に光栄です。インフルエンザの予防注射も受けましたし、体調管理はバッチリです。一生懸命頑張ります」

1979年東京生まれ。東海大学航空宇宙科学卒業後、ニューヨークのInternational Center of Photographyにてドキュメンタリーおよび報道写真を学ぶ。2007年度International Color Awards 広告部門ノミネート。2006、2007年度International Photography Awards 佳作。現在は活動の拠点をニューヨークに置き、フリーランスのフォトグラファーとしてライブやカニバル、スポーツイベントなどの撮影を中心に活動中。

シェイナ・ウィットマンワイラー Shana Wittenwyler



「メンバーに選ばれたことが本当にうれしくて、ワクワクしています。PHaT PHOTO'Sという大きな可能性にあふれた舞台で、フォトグラファーとして成長していくのが楽しみです」

2005年、ニューヨークのInternational Center of Photographyにてドキュメンタリーと報道写真を修了。「The New York Times」や「Rolling Stone」、さらに「Fortune」など数々の雑誌に作品を提供し、イギリス、イタリア、日本、メキシコ、スペイン、そしてアメリカなどでの展示経験を持つ。また、IPCの卒業生を中心に結成された若手写真家集団、veras imagesのメンバーとしても活動している。